

令和7年度西尾張地区中学校陸上競技大会における留意事項

1 当日の流れ

- (1) タイムスケジュールは以下の通りとする。(開会式と閉会式は行わない)

【開 門】	8 : 0 0	※大会運営関係者は7 : 4 5頃から入場可能予定。
【受 付】	8 : 1 5 ~	(提出物はありません)
【審判受付】	8 : 1 5 ~	
【団体代表】	8 : 3 0 ~	審判に入っていない学校のみ参加する
【審判打合】	8 : 3 0 ~ (本部前)	※補助員も集合する。
【諸 注 意】	9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	※川路より 選手： <u>控え席</u>
【競技開始】	9 : 3 0	
【競技終了】		
【表 彰 式】	競技終了後、該当校および該当選手のみ参加とする。	
【運動部員】	表彰式終了後、本部にて打ち合わせを行う。	

- (2) 開門時間の8 : 0 0まで、大会運営関係者以外は競技場に入れない。
- (3) 開会式は行わず、諸注意のみとする。閉会式は、表彰式のみとする。該当団体以外は団体ごとの解散とする。
- (4) 各種目の3位入賞者の賞状は、競技終了後30分以降に本部へ取りに来る。生徒でも可。

2 アスリートビブス等について

競技者は必ずアスリートビブス(規定のもの)を胸・背部に確実につける。ただし走高跳、棒高跳は胸・背いずれか一方でもよい。走幅跳は胸につけるだけでもよい。

3 招集について

- ・招集について ・すべての種目において、競技時間表記載の招集時間に招集所(スタンド下競技者係室前)にて招集を受ける。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。なお、他の出場種目の競技時間の関係で 招集時間に招集を受けることが難しい場合は、事前に招集所に申し出る。
- ・シューズの点検を行うため、規定のシューズやスパイク、ピンを使用すること。ただし、投擲競技のみ規定のスローイングシューズ以外のシューズも特別に認める。

(1) トラック競技

- ・トラック競技においては腰ナンバー標識を使用する。招集時に受け取り右腰につける。
- ・腰ナンバー標識は、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
- ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集完了1時間前までに招集所に提出する。
オーダー用紙は招集所で配布を行う。(予選については、9 : 0 0までの提出とする。)
- ・招集完了後は、スタート時間10分前にスタート地点に集合し、最終コールを受ける。

(2) フィールド競技

招集完了後は、招集完了時間をめどに競技場所に集合する。

- (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	〈招集開始時刻〉	〈招集完了時刻〉
トラック競技	30 分前	20 分前
跳躍競技	40 分前	30 分前
(棒高跳のみ)	60 分前	50 分前
投てき競技	40 分前	30 分前

4 ウォーミングアップについて

競技開始前のウォーミングアップについては、登録選手が、競技場のトラックを使って、準備に支障のない範囲で行うことができる。なお、以下について留意して行うようにする。

- ・使用時間は8：00～9：15とする。
- ・集団でのウォーミングアップは禁止とする。

競技開始前のレーン使用区分は以下の通りとする。

1・2レーン	3～7レーン	バックストレート4～8レーン	ホームストレート8・9レーン
中・長距離	短距離	リレー練習優先	ハードル練習優先 (この場所以外のハードル練習は禁止)

- ・砲丸投げの練習は禁止とする。
- ・フィールド種目については、役員の指示に従ってウォーミングアップを行う。
- ・フィールド芝生部分でのスパイク使用は禁止とする。
- ・競技時間中における競技場内でのウォーミングアップは、ホームストレートを使用する種目（100m・200m・ハードル）の時のみバックストレートの使用を認める。大会運営等に支障が出ると判断した時には、禁止にする場合もある。
- ・各種目の競技開始場所での直前のウォーミングアップは、審判員の指示に従って行う。

5 競技について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。ま本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として実施するが、ワールドアスレティックス（WA）のワールドランキングコンペティション（WRk対象競技会）としては実施しない。そのため、競技会で出された記録は国内の公認記録としては認められるが、WAワールドランキングや国際大会（オリンピック・世界選手権など）の参加資格など、WA記録集計の対象とはならない。

(1) トラック種目について

- ・スタートは英語で行う。スタートは国内ルールを適用する。
- ・トラック競技の100mは、予選のタイム上位8名を決勝に進出とする（リレーは8チーム）ただし、200m、400m、800m、1500m、3000m、100mH、110mHはタイムレース決勝とする。
- ・決勝進出者（上位8名8チーム）を決めるときに、同記録者がある場合、写真判定主任が同記録者の1/1000秒単位での記録を考慮して進出者を決める。それでも決まらない場合は、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。
- ・100m、100mH、110mHについては、同記録着差なしの場合についてのみ、9名までの決勝進出を可とする。10名以上になる場合は抽選を行う。
- ・県大会の出場権を得る7位の記録が同記録だった場合は、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。
- ・セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン〈曲走路〉を走るものとする。
- ・欠場者のレーンについて、100m～400mでは空ける。800m以上では競技役員の指示による。
- ・110mH（100mH）は、高さ91.4cm（76.2cm）、10台で行う。出発線より第1ハードルまでは13.72m（13m）、ハードル間は9.14m（8m）、最終ハードルから決勝線までは14.02m（15m）とする。 ※（ ）は女子

(2) リレー種目について

- ・リレー種目については、リレー登録者6人のうち2人を残し、残りの2人を本大会登録選手から選ぶことも可能である。（競技規則 TR24.10.2）
- ・メンバー変更については、競技規則 TR24.10.2~4 の項を適用する。
- ・リレーのテイクオーバーゾーンは30mとする。
- ・マーカー（ダッシュマーク）の使用は1箇所とする。（会場で用意したものを使用してもよい）
- ・リレーの申し込みの有無に関わらず、低学年リレーか共通リレーのどちらかにしか出場できない。（1人の選手が

2つのリレーを兼ねることはできない)

※ 違反例：予選は低学年リレーに出場し、決勝は共通リレーに出場する。

- ・低学年のリレーオーダーは、2年→1年→1年→2年とする。
- ・県大会の出場権を得る7位の記録が同記録だった場合は、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。

(3) フィールド種目について

- ・リレー種目とフィールド種目を兼ねる場合はリレーを優先する。
- ・フィールド競技の競技役員に申し出てからリレー競技に向かう。
- ・申し出がない場合は、棄権とみなす。
- ・フィールド競技に戻ったときも、競技役員に申し出る。ただし、そのラウンドが終了している場合には、そのラウンドでの試技は認めない。(ラウンド内に戻らなければ無効試技となる)
- ・走り高跳びと棒高跳びのバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	(大会記録をこえた場合7-)
男子走高跳	1m35	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m60をこえる場合は3cm刻み
女子走高跳	1m20	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m45をこえる場合は3cm刻み
男子棒高跳	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m00をこえる場合は10cm刻み
女子棒高跳	1m80	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m60をこえる場合は10cm刻み

※ 上記の高さおよび競技運営は状況に応じて変更することもある。

- ・走高跳、棒高跳は優勝決定戦を行わない。ただし、県大会出場権の7位決定戦や繰り上がりを考慮して、8位・9位の順位が同一だった場合、決定戦(ジャンプオフ)を行う。
- ・順位決定のバーの上げ下げは、走り高跳びでは2cm、棒高跳びでは5cmとする。

6 会場使用について

- (1) 控え席の地区ごとの指定は行わない。学校の参加人数に応じて適切なスペースを確保すること。ただし、走っての場所取りは行わないようにし、安全に留意すること。
- (2) のぼり、横断幕などについては、人工物に固定すること。樹木にくくりつけたり、植木に差し込んだりしない。設置に関しては、競技の妨げにならないように十分注意すること。
- (4) アスファルトやコンクリートのかたい部分は、スパイクでの通行を禁止とする。
- (5) トラック外側(緑色の部分)は、選手以外の通行を禁止する。
※ 選手以外の者は、テント前の平らな部分と土手上部を通路として移動する。
- (6) 生徒の使用するトイレは、競技場外の2か所及びメインスタンド下のトイレを使用する。ただし、本部前の通行は禁止とする。
- (7) 補助員以外の生徒は、メインスタンドへは入らない。
- (8) 保護者の競技場内での応援も認める。
- (9) サッカー場や野球場など、他の施設には立ち入らない。
- (10) ゴミは各自で持ち帰る。各学校で競技場の環境美化に努める。

7 その他

- (1) 競技運営について
 - ・競技運営上、競技日程およびピットを変更することがある。
 - ・トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
 - ・競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳び用のポールは、個人所有のものを使用できる。
 - ・競技会中は、倉庫内等で待機することはできない。暑さを考慮し、タオルや日傘を用意して各自で対応する。
 - ・結果は競技場内に選手用として1つ、競技場外にはメインスタンドに上がる階段付近の1つ掲示する。
- (2) 競技用靴について
競技用の靴については、日本陸上競技連盟競技規則「競技用靴に関する規定」に準ずるものを使用すること。

- ・競技用靴の靴底の最大厚さは、全ての種目において20mm以下のものを使用すること。(TR5.13.3)
- ・競技場は全天候舗装のため、専用ピンを使用すること。ピンの長さはトラック種目、走り幅跳びについては8mm以下、走り高跳びは12mm以下を使用すること。(いちい信金スポーツセンターホームページ参照)
- ・招集時に靴の検査を行うので、各種目の競技規則に沿った靴を使用するよう注意すること。

(3) 団体得点について

- ・得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
- ・同順位の場合、得点を均等に分け与える。
- ・総合得点が同点の場合は、上位入賞者数で決める。
- ・クラブチームにおいても団体表彰を行う。

(4) 抗議について

- ・抗議については、記録が掲示された時間を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、ない場合は30分以内に、本部(副部長)に口頭で申し出ること。

(5) 表彰について

- ・個人種目3位入賞者には、賞状を授与する。※ リレーの補欠選手への授与はしない。
- ・総合得点(男女別)優勝団体には、賞状と優勝旗を授与する。準優勝の団体には、賞状と準優勝盾を授与する。3位の団体には賞状を授与する。
- ・大会新記録を出した選手は、新記録賞を授与する。全体での表彰は行わない。
- ・表彰式は男子(女子)優勝団体2名、準優勝団体2名、3位団体1名は、アナウンス後に本部前に集合する。

(6) 愛知県中学校総合体育大会の出場について

- ・本大会で7位7名までの選手が出場することができる。
- ・決勝進出者の中から失格・棄権が出て7名を下回った場合は、失格者、棄権者の予選ラウンドの記録を比較し、上位者を愛知県大会に出場させる。
- ・愛知県大会出場決定者が大会終了後に棄権を申し出た場合は、8位以下を繰り上げ出場させる。県大会出場の辞退が決まった学校は、6月30日(月)までに、江南市立古知野中学校川路まで連絡をすること。
- ・県大会への申込みは、県大会の要項を確認して各校で行うこと。県大会の申し込み期限はWeb(nans)が7月15日(火)21:00まで
一覧表郵送が7月16日(水)必着となる。申し込みの漏れ等がないよう十分注意をすること。

(7) ビデオおよびカメラ撮影について

- ・学校関係者が撮影する場合は、黄色のビブスを着用して行うこと。撮影者の人数制限は行わない。
- ・競技進行の妨げになったり、他者に著しく迷惑をかけたりの行為として主催者が判断した場合は退場させる。
- ・撮影は、競技の妨げとならない場所のみで行い、フィールド・トラック内からの撮影は禁止とする。

(8) 駐車場について

- ・大会当日は、プール横の駐車場と多目的広場を駐車場として利用できる。ただし、多目的広場は8時～15時30分までの駐車とする
※ 競技役員は、当日、スタンド南西の駐車場に駐車することもできる。
- ・バスでの敷地内入場は認める。原則、入場した後に会場で待機させる場合は、競技終了後まで、移動することはできない。送迎のみの場合は、総合運動場の南側から正門に向かって進み、正門手前で生徒の乗降を行う。
- ・バスで会場に駐車希望する団体は、サイズ、台数等の報告を6月13日(金)までに各地区代表まで報告すること。

(9) 荒天時の対応について

- ・荒天時は、西尾張地区大会要項に記載されている対応に沿って連絡等を行う。
- ・雷が心配される場合には、競技を一時中断し避難することがある。避難はスタンドを中心に避難を行うが、各団体の判断でバスや車等に避難することも認める。避難誘導は会場アナウンスにて行う。保護者は一時的に車へ戻ってもらい、スタンドを空けるようにする。各団体で事前に保護者等へ周知を徹底する。
- ・雷の状況によっては、予選のタイムを用いて順位を決定することや各種目の試技回数の変更、タイムレース決勝へ変更する場合もある。その際は、事前にアナウンスで連絡を行い、周知徹底を行う。

(10) 怪我等緊急時の処置について

応急処置は本部で行うが、原則として、各団体の責任のもとで処置を行う。救急車が必要な場合は、救護担当と相談し対応する。

(11) 選手宣誓について

- ・開会式選手宣誓及び優勝旗等返還、レプリカ贈呈は行わない。優勝旗、準優勝盾は団体受付の際に、本部へ返還する。

- ・令和6年度大会

優勝旗 男子：古知野中学校

準優勝盾 男子：宮田中学校

女子：古知野中学校

女子：大治中学校

(12) 補助員について

補助員 古知野中 10名

宮田中 10

大口中 10名

木曽川中 8名

弥富中 8名

大治中 8名（計54名）